

参加費
無料

会員様向け
セミナー

第1回

昔話「桃太郎」に学ぶ 戦略的組織マネジメント

開催日 2021年11月24日(水) 10:00~16:00

◆セミナーの目的

昔話「桃太郎」は、組織マネジメントを学ぶのに最適な教材です。桃や川、お爺さんやお婆さん、桃太郎や3匹の仲間などを、有用に意味づけすることができます。その意味づけを戦略的組織マネジメントの視点で洞察し、今後活かしていく術を探っていきます。

◆セミナーの特徴

最新の組織マネジメントの知見を、数多く研究していきます。多くの気づきが得られるよう、工夫を凝らしています。

プログラム

1. 「昔話『桃太郎』」の全体構成

2. 個別要素の意味づけ

3. 「桃」が意味するものは『戦略』

- ・ブルーオーシャン戦略
(キム&モボルニュ)
- ・「製品×市場」戦略
(アンゾフ)
- ・3つの基本戦略
(ポーター)

4. 「川」が意味するものは

『時代の潮流』

- ・時代を見通す考え方「センスメイキング」
- ・デザイン思考で見極める危機
- ・OODA(ウーダ)ループを回して行動

5. 「桃太郎」の役割は

『イノベーション』

- ・イノベーションの3要素
- 人間、技術、事業
- ・イノベーションの2分類
- 持続的イノベーション、破壊的イノベーション
- ・OKR(Objectives & Key Results)
- 目標と主な結果
- ・ポジティブデビアンス・アプローチ
- ポジティブな逸脱
- ・テッピングポイント・リーダーシップ
- 変革への抵抗の克服
- ・ユースイキアン・マネジメント
- 個人と企業の双方の利益追求
- ・コネクション・カルチャー
- 心のつながりをマネジメントに活用
- ・心理的安全性
- 批判への防護心や不安からの開放

6. 「雉」の役割は

『観察』と『検証』

- ・R-STP-MMIC
(アールステップミミック)
- ・鳥の眼、虫の眼、蟻の眼、魚の眼

7. 「猿」の役割は『仮説』

- ・問われる現場力
- 5現主義
(現地、現場、現物、現人、現状)
- ・問題点の発見と課題の抽出
- ・解決策の展開
- 効率性の向上、生産性の向上
- ・目標の設定

8. 「犬」の役割は『実験』

- ・組織の編成
- ・人員の配置